



昼夜の寒暖差で例年になく良食味 JA太田市が大田市場で試食宣伝会を開催！

JA太田市「藪塚こだま西瓜」試食宣伝会

- 期日：3月1日(木)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：JA太田市、太田市、JA全農ぐんま、群馬県
- 内容：「藪塚こだま西瓜」の紹介や試食宣伝等

「藪塚こだま西瓜」初荷をPR！

JA太田市の「藪塚こだま西瓜」が初荷を迎えることから、産地より野菜センター運営委員長とスイカ部会役員やJA役員、太田市職員の方々が来場して試食宣伝会が開催されました。また、太田市のマスコット「おおたん」と群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」、さらに太田市観光大使の「ミス太田」と「ミス八瀬川」の2名も応援に駆けつけて会場を大いに盛り上げました。

こだますいかのH29年都中央入荷量は、群馬県は2位で占有率は12%ですが、3月の占有率は40%と1位です。入荷量伸長率(H29/H23)は74%と減少傾向ですが、平成26年の雪害以降順調な回復を図っています。(1位は茨城県で占有率は39%、同伸長率は111%と増加傾向)。

今年の「藪塚こだま西瓜」は、日照には恵まれています、冷え込みが強くハウスの温度管理がかなり大変でした。やや小玉傾向ですが糖度は13～15度でシャリ感も上々で、生産者の技術の高さで例年になく食味の良いこだますいかに仕上がっているとのこと。

「藪塚こだま西瓜」の食味大好評！

当日は、「藪塚こだま西瓜」のリーフレットが配布され、試食用にカットされた「藪塚こだま西瓜」が市場関係者に提供されました。「すごく甘い」、「今年のは特に美味しい。」と大好評で、「藪塚こだま西瓜」の食味の良さと特徴をPRしました。

JA太田市野菜センター運営委員会の羽鳥委員長から、「昨年秋からの台風や長雨、12月の低温と天候不順が続く、産地は栽培に大変苦労しました。しかし、生産者のたゆまぬ努力のおかげで今日の初荷の日を迎えることができました。一人でも多くの消費者の方に『藪塚こだま西瓜』の美味しさを知っていただけるように皆様のお力添えをよろしくお願ひします。」と、JA太田市の天笠副組合長と藤生スイカ部会長から「本年は38名の生産者で18万ケースの出荷を目標に取り組みでいきます。これからも食味の良い『藪塚こだま西瓜』の安定供給を心がけていくのでよろしくお願ひします。」と挨拶がありました。



「藪塚こだま西瓜」展示



JA太田市が「藪塚こだま西瓜」をPR



試食宣伝の様子



羽鳥委員長の挨拶